

国内ゴルフ市場に関する調査を実施（2017年）

【調査要綱】

矢野経済研究所では、次の調査要綱にて国内のゴルフ市場の調査を実施した。

1. 調査期間:2017年5月～8月
2. 調査対象:日本国内のゴルフ用品取扱関連企業
3. 調査方法:ゴルフ用品の出荷量に関する郵送留置調査、ゴルフ用品の市場動向に対する面接取材及び電話調査

<ゴルフ用品とは>

本調査におけるゴルフ用品とは、ゴルフ用品取扱関連企業が生産・販売を行う、個人消費者向けのものをさす。また、自社ブランド商品の国内出荷分を対象とし、「OEM 請負分」は対象外とする。

【調査結果サマリー】

◆ 2016年の国内ゴルフ用品出荷市場は、前年比98.1%とマイナス成長

2016年の国内ゴルフ用品市場規模(メーカー出荷金額ベース)は、前年比98.1%の2,547億5,000万円となった。ゴルファー数減少を主たる要因とした総需要量の減少、大手量販チェーンを中心とした新規出店減少と不採算店舗の閉店がマイナスの主要因である。

◆ ゴルフ用品の多くの商品カテゴリーで、出荷金額以上に出荷数量減少が鮮明に

2016年の国内ゴルフ用品市場(メーカー出荷ベース)を商品カテゴリー別に見ると、一部のカテゴリーを除いては出荷金額以上に出荷数量の減少幅が大きくなっている。例えば、ゴルフクラブ市場の2016年国内出荷金額は前年比96.3%であったが、出荷数量は前年比85.2%と大幅なマイナスとなっており、商品単価は上昇している。商品単価上昇の主要因はメーカー各社が実施した値上げである。

◆ 2017年の国内ゴルフ用品出荷市場は、前年比102.8%のプラス成長と予測

2017年の国内ゴルフ用品市場規模(メーカー出荷金額ベース)は、前年比102.8%の2,618億9,000万円と予測する。前年に引き続き減退する需要を商品単価上昇でカバーするような予測となっているが、如何にして需要の減退に歯止めをかけることが出来るかがゴルフ用品市場のみならず、ゴルフ産業全体にとっての大きな課題であると考ええる。

◆ 資料体裁

資料名:「2017年版ゴルフ産業白書」
 発刊日:2017年8月10日
 体裁:A4判 636頁
 定価:145,000円(税別)

◆ 株式会社 矢野経済研究所

所在地:東京都中野区本町2-46-2 代表取締役社長:水越 孝

設立:1958年3月 年間レポート発刊:約250タイトル URL: <http://www.yano.co.jp/>

本件に関するお問合せ先(当社HPからも承っております <http://www.yano.co.jp/>)

(株)矢野経済研究所 マーケティング本部 広報チーム TEL:03-5371-6912 E-mail:press@yano.co.jp

本資料における著作権やその他本資料にかかる一切の権利は、株式会社矢野経済研究所に帰属します。
 本資料内容を転載引用等されるにあたっては、上記広報チーム迄お問合せ下さい。

プレスリリース

【 調査結果の概要 】

1. 市場概況

2016年の国内ゴルフ用品市場規模(メーカー出荷金額ベース)[※]は、前年比98.1%の2,547億5,000万円となった。ゴルファー数減少を主たる要因とした総需要量の減少、大手量販チェーンを中心とした新規出店減少と不採算店舗の閉店がマイナスの主要因である。

2016年のゴルフ用品市場を商品カテゴリー別に見ると、一部のカテゴリーを除いては出荷金額以上に出荷数量の減少幅が大きくなっている。例えば、ゴルフクラブ市場の2016年国内出荷金額は前年比96.3%であったが、出荷数量は前年比85.2%と大幅なマイナスとなっており、商品単価が上昇している。商品単価上昇の主要因はメーカー各社が実施した値上げである。

※ 参考資料:世界ゴルフ用品小売市場に関する調査を実施(2016年) 2017年4月4日発表
<https://www.yano.co.jp/press/press.php/001673>

以下、主な商品カテゴリー別の市場概況を記述する。(表1参照)

①ゴルフクラブ(ウッド)

ドライバー及びフェアウェイウッドで構成されるウッドの2016年国内出荷市場は、数量ベースで前年比90.6%の173万本、金額ベースで前年比102.4%の429億円となった。出荷数量と金額のベクトルが「真逆」と言って差し支えない数字となっており市況感を論ずることが難しいが、需要減退をメーカー各社の値上げを背景とした商品単価上昇がカバーしたような結果となった。

2017年は数量ベースでは前年比99.4%の172万本と引き続いてのマイナス予測だが、金額ベースでは前年比101.2%の434億円のプラス成長と予測する。

②ゴルフクラブ(ハイブリッド)

ハイブリッドの2016年国内出荷市場は、数量ベースで前年比81.0%の64万本、金額ベースで前年比94.3%の85億9,000万円と数量、金額共にマイナスとなった。2015年は数量、金額共に2桁増となったが、2015年に出荷された商品が小売市場に在庫として滞留したことにより2016年の出荷が抑制されたものと考えられる。2017年は数量ベースで前年比103.1%の66万本、金額ベースで前年比104.4%の89億7,000万円と予測する。

③ゴルフクラブ(アイアン)

アイアンの2016年国内出荷市場は、数量ベースで前年比83.0%の380万本、金額ベースで前年比89.5%の382億円と数量、金額ともマイナス成長となった。他の商品カテゴリー同様に当該市場も需要減退の影響を大きく受けたが、これまで成長を続けてきたゴルファーのスイングに合わせて組み立てる「カスタムアイアン」の需要が一巡したこともマイナスの一因と考えられる。

2017年は数量ベースで前年比102.1%の388万本、金額ベースで前年比108.5%の414億3,000万円と予測する。

④ゴルフクラブ(パター)

パターの2016年国内出荷市場は、数量ベースで前年比90.8%の59万本、金額ベースで前年比104.1%の71億1,000万円と数量減、金額増となった。メーカー各社から発売される新製品の値上げと、マークダウン品(特価処分品)の出荷が抑制されたことが数量減、金額増の主要因である。

2017年は数量ベースで前年比105.1%の62万本、金額ベースで前年比108.6%の77億2,000万円と予測する。

⑤ゴルフボール(ラウンドボール)

ラウンドボールの2016年国内出荷市場は、数量ベースで前年比101.3%の955万ダース、金額ベースで前年比99.8%の204億5,000万円となった。ゴルフグローブ市場とともに商品単価が下落した数少ない商品カテゴリーの一つである。

2017年は数量ベースで前年比100.0%の955万ダースと横ばい、金額ベースで前年比104.3%の213億2,000万円のプラス成長と予測する。

プレスリリース

⑥ゴルフシューズ

ゴルフシューズの2016年国内出荷市場は、数量ベースで前年比98.8%の166万足、金額ベースで前年比99.6%の122億8,000万円と数量、金額ともに微減となった。ダイヤルでシューズの締め付けを調整する「ダイヤルシューズ」が引き続き当該市場を牽引したが、これらダイヤルシューズにも徐々に行き渡り感が出て来ており、それがマイナスの主要因となった。

2017年は数量ベースで前年比106.0%の176万足、金額ベースで前年比112.3%の137億9,000万円といずれもプラス成長と予測するが、他のスポーツカテゴリーで人気のブランドの市場参入が続いており、市場における競争は激化している。

⑦キャディバッグ

キャディバッグの2016年国内出荷市場は、数量ベースで前年比95.1%の78万本、金額ベースで前年比102.3%の93億1,000万円と数量減、金額増となった。キャディバッグでは、需給バランスを見極めた上で適正な量を出荷するビジネスが定着しており、出荷数量は減少が続いているものの市場の健全性は高まっている。2017年は数量ベースで前年比96.2%の75万本、金額ベースで前年比97.4%の90億7,000万円と数量、金額共にマイナスと予測する。

⑧ゴルフグローブ

ゴルフグローブの2016年国内出荷市場は、数量ベースで前年比102.5%の835万枚、金額ベースで前年比102.2%の60億3,000万円と数量・金額ともプラス成長になったものの、ゴルフボール(ラウンドボール)市場とともに商品単価が下落した数少ないカテゴリーとなった。

2017年は数量ベースで前年比99.2%の828万枚とマイナスとなるものの、金額ベースでは前年比100.0%の60億3,000万円と横ばいを予測する。

⑨ゴルフウェア

ゴルフウェアの2016年国内出荷金額は、前年比98.8%の907億6,000万円とマイナス成長となった。温暖化や気候変動による気温上昇によって、店頭での売れ筋が単価の安い春夏物に変化したこと、及び訪日外国人客によるインバウンド需要の減少がマイナスの主要因として指摘できる。

2017年のゴルフウェア国内出荷金額は、前年比101.3%の919億円とプラス成長と予測する。

2. 将来予測

2017年の国内ゴルフ用品市場規模(メーカー出荷金額ベース)は、前年比102.8%の2,618億9,000万円になると予測する。前年に引き続き減退する需要を商品単価上昇でカバーするような予測となっているが、如何にして需要減退を食い止めるか(ゴルファー数減少をいかにして食い止めるか)がゴルフ用品市場のみならず、ゴルフ産業全体にとっての大きな課題であると考えられる。

表 1. 商品カテゴリー別ゴルフ用品国内市場規模推移

(数量単位：千本、千足、千枚、千ダース 金額単位：百万円、構成比、前年比：%)

		2014年		2015年			2016年			2017年(予測)		
			構成比		構成比	前年比		構成比	前年比		構成比	前年比
ゴルフクラブ	数量	7,490	-	7,930	-	105.9	6,760	-	85.2	6,880	-	101.8
	金額	96,600	38.5	100,540	38.7	104.1	96,800	38.0	96.3	101,520	38.8	104.9
ウッド	数量	1,910	-	1,910	-	100.0	1,730	-	90.6	1,720	-	99.4
	金額	43,000	17.1	41,900	16.1	97.4	42,900	16.8	102.4	43,400	16.6	101.2
ハイブリッド	数量	660	-	790	-	119.7	640	-	81.0	660	-	103.1
	金額	7,470	3.0	9,110	3.5	122.0	8,590	3.4	94.3	8,970	3.4	104.4
アイアン	数量	4,260	-	4,580	-	107.5	3,800	-	83.0	3,880	-	102.1
	金額	39,400	15.7	42,700	16.4	108.4	38,200	15.0	89.5	41,430	15.8	108.5
パター	数量	660	-	650	-	98.5	590	-	90.8	620	-	105.1
	金額	6,730	2.7	6,830	2.6	101.5	7,110	2.8	104.1	7,720	2.9	108.6
ゴルフ用品	金額	31,830	12.7	33,430	12.9	105.0	33,180	13.0	99.3	34,330	13.1	103.5
シューズ	数量	1,650	-	1,680	-	101.8	1,660	-	98.8	1,760	-	106.0
	金額	10,960	4.4	12,330	4.7	112.5	12,280	4.8	99.6	13,790	5.3	112.3
キャディバッグ	数量	840	-	820	-	97.6	780	-	95.1	750	-	96.2
	金額	9,300	3.7	9,100	3.5	97.8	9,310	3.7	102.3	9,070	3.5	97.4
その他バッグ、カバー類	金額	5,800	2.3	6,100	2.3	105.2	5,560	2.2	91.1	5,440	2.1	97.8
グローブ	数量	8,020	-	8,150	-	101.6	8,350	-	102.5	8,280	-	99.2
	金額	5,770	2.3	5,900	2.3	102.3	6,030	2.4	102.2	6,030	2.3	100.0
ゴルフボール	数量	13,020	-	12,980	-	99.7	13,780	-	106.2	12,880	-	93.5
	金額	21,960	8.7	22,400	8.6	102.0	22,690	8.9	101.3	23,140	8.8	102.0
ラウンドボール	数量	9,160	-	9,430	-	102.9	9,550	-	101.3	9,550	-	100.0
	金額	19,900	7.9	20,500	7.9	103.0	20,450	8.0	99.8	21,320	8.1	104.3
レンジボール	数量	3,860	-	3,550	-	92.0	4,230	-	119.2	3,330	-	78.7
	金額	2,060	0.8	1,900	0.7	92.2	2,240	0.9	117.9	1,820	0.7	81.3
ゴルフウェア	金額	89,600	35.7	91,900	35.4	102.6	90,760	35.6	98.8	91,900	35.1	101.3
その他ゴルフ用品	金額	11,040	4.4	11,320	4.4	102.5	11,320	4.4	100.0	11,000	4.2	97.2
合計	金額	251,030	100.0	259,590	100.0	103.4	254,750	100.0	98.1	261,890	100.0	102.8

注 1: メーカー出荷ベース

矢野経済研究所推計

注 2: 本調査におけるゴルフ用品とは、ゴルフ用品取扱関連企業が生産・販売を行う、個人消費者向けのものをさす。自社ブランド商品の国内出荷分を対象とし、「OEM 請負分」は対象外とする。その他ゴルフ用品は、個人消費者に向けたゴルフ用品で、ティー・メーカー類、練習機器、コンペ商品等が含まれる。

注 3: 2017 年は予測値

注 4: 四捨五入のため、表データ内の比率合計が一部異なる。